

## 読売新聞 きょう（2月3日）のイチ押し

### 一面など 緊急事態10都府県延長

菅首相は、新型コロナ対策で大阪、兵庫、京都など11都府県に発令中の緊急事態宣言について、栃木を除く10都府県で3月7日まで1か月延長すると表明しました。

- ★ 首相は会見で、「何としても感染の減少傾向を確かなものにしなければならぬ」と強調、感染状況の改善が十分だと判断すれば早期に解除する方針も示しました。
- ★ 10都府県では、基本的対処方針に基づき、飲食店には午後8時までの営業時間短縮を要請し、応じた店に1日最大6万円を支給します。
- ★ 首相はワクチンについても言及し、医療従事者向けの接種を2月中旬に開始する意向を示しました。65歳以上への接種は4月から始めると明言しました。

### 一面か社会面 河井案里被告 議員辞職へ（13版途中から）

2019年の参院選広島選挙区を巡る大規模買収事件で、公職選挙法違反に問われ有罪判決を受けた参院議員の河井案里被告が、議員辞職する意向を固めました。3日に山東議長に議員辞職願を提出します。

- ★ 河井被告の辞職で、4月23日に参院広島選挙区で補欠選挙が行われ、参院長野選挙区、衆院北海道2区の2補選と同日になります。
- ★ 1月21日の東京地裁判決では、河井被告側からの現金提供を買収だったと判断、懲役1年4月、執行猶予5年の有罪判決を言い渡しており、判決が確定すれば、被告は失職することになっていました。

#### 他紙と比べて

本紙は、国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）を重視した紙面作りをしています。13面の「SDGs@スクール」では、人気ゲームソフト「あつまれ どうぶつの森」を活用した小学校の授業を紹介しています。SDGsについては、夕刊の第2、4火曜日に特集面があり、社会面などでもワッペンをつけて官民の様々な取り組みを報じています。